

<p>発言の会議</p>	<p>平成 20年 3月 3日 本会議</p>
<p>発言の種類</p>	<p>質疑、一般質問、緊急質問、討論、その他</p>
<p>答弁を求める者</p>	<p>市長</p>
<p>件名及び 発言の要旨</p>	<p>1 本市の施設整備の考え方とあり方について</p> <p>(1) 整備実施の可否や優先順位づけの判断基準について</p> <p>ア 「施設整備リスト」と呼ばれる一覧の中に挙げられている施設整備を、実施に移していく際の優先順位は、具体的にどのような判断基準に基づいて決定しているのでしょうか。また、「行わない」とする判断の基準は何でしょうか。</p> <p>(2) 耐震基準について</p> <p>ア 1981年に大幅に建築基準法施行令が改正され、現在の新耐震設計基準が誕生しましたが、本市の公共施設の中で、耐震化工事が必要な施設はどれくらいあり、主にどのようなものがあるのでしょうか。また、耐震診断すら行っていない施設は何カ所くらいあり、それは主にどのようなものなのでしょうか。</p> <p>イ 耐震診断や耐震補強を行っていない施設についての、今後の方針をお示してください。</p> <p>(3) 横須賀市基本計画との関係について</p> <p>ア 横須賀市基本計画を平成22年に改定するに当たって、現行の基本計画の評価という作業も必要です。施設整備の進捗度の扱いは、その評価の一つの観点と言えます。今の段階で整備されていない施設は、主にどのようなものがあるのでしょうか。</p>

件 名 及 び
発 言 の 要 旨

か。また、今後の見通しについても、お示してください。

イ 新しく策定することが予定されている平成 23 年からの基本計画には、現行の基本計画同様、具体的な施設整備の方向性について、触れられるおつもりでしょうか。

(4) 合意形成のあり方について

ア 施設の整備に係る公共事業の実施については、市民にとって、大きな関心事です。ただ、その立場や生活環境、あるいは嗜好によって、その優先順位は変わってきます。ですから、行政や議会は、高所大所からの視点が必要になるわけですが、かといって、市民に隠れて、その優先順位を決めてはいけません。市全体の合意形成のあるべき姿について、市長のお考えをお示してください。

イ 残念ながら、現在の施設整備の検討のあり方は、あまりオープンではありません。議会にすら「施設整備リスト」や「廃止カルテ」の内容は明らかになっていませんが、市長の政治的な判断に基づいて、これを公表するべきではないでしょうか。

(5) 救急医療センターについて

ア 平成 18 年の 3 月議会で、「救急医療センターの 24 時間化の実施」と「北部・西部地区からアクセスのよい場所に増設すること」を提案させていただきました。あらためて御提案いたしますが、現在の市長のお考えをお示してください。

件 名 及 び
 発 言 の 要 旨

イ 建設ありき、建て替えありきではなく、既存の施設の有効に活用をしていく工夫を、まずは考えるべきではないでしょうか。

ウ 「古くなって、使い勝手が悪い」と記者会見場でおっしゃられているようですが、実際に、市長は現場を視察された上で、こうした御判断をされているのでしょうか。